

ユニオンファンド 月次レポート

第 139 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2020年6月4日作成

MONTHLY TOPIC

ウイルスも株価も分からないことが多いが・・・

日本を含む東アジアの国々では、欧米などと比べて新型コロナウイルスの感染者数が驚くほど少なく済んでいます。生活習慣の違いにその理由を求めたり、BCG 接種率の高さを挙げる人もいます。しかしこの差がどこから来るのか、本当のところはよく分かっていないというのが真実だろうと思います。

薬やワクチンの開発は加速しており、遠からずウイルスを撃退できるとの期待も高まっています。しかし、ある薬を投与して治ったとしても、その薬に効果があるのかどうかは断言できないというのが専門家の考え方です。治った理由が他にあるかも知れないからです。薬害の発生を避けるためにも慎重な研究が必要のようです。

株値の動きにも分からないことが実は多い

分からないことが多い中、株値は大きくリバウンドしてきましたが、景気の実態とあまりにも乖離していることを警戒するムードは根強く残っています。プロの投資家の多くは先行きに慎重で、現金の保有や国債投資に比重を置き、株式投資の本格的な再開にはまだまだ二の足を踏んでいる様子です。

株値が戻ってきたのは感染がピークを過ぎたからだと言われますが、米国を見るとなんだか妙に思えます。新規感染者数の減少はかなり遅いのに、株値の上昇は最も速かったからです。金融緩和がプラス効果をもたらしたとの説も有力ですが、それならば株値はもっと早く反発に転じてもおかしくありませんでした。FRB（連邦準備制度理事会）の緩和発表は3月の3日と15日に行われましたが、最後の利下げ翌日の16日から株値が底値を付けた23日までに、ダウ平均は4,600ドル近くも下落しているのです。

人々の生きていく力を信じる

未知のものを理解し探求しようとする精神や態度はとても尊いものです。ただ、状況が複雑だと理解するのも容易ではありません。原因や対策が分からなければ先の見通しもつきにくく、不安も募りがちです。その結果、単純化された結論に安易に飛びついて間違った判断をしてしまうことさえあります。

実のところ、私たちの周りはコロナの前だって危険で分からないことだらけでした。その中でも日々の生活は続いてきたわけです。それは、様々なネガティブな状況に打ち勝つだけの力強さを私たちが持っていたからでしょう。これからもきっとそうだろうと思っています。

ユニオンファンドは、人々の生きていく力がこれからも経済成長と企業業績の拡大をもたらし、それが自然に株値を押し上げていく、との考えに基づいて運用しています。この前提は簡単には覆らないでしょう。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2020年5月末現在)

基準価額

22,392 円

純資産総額

69 億 23 百万円

期間別騰落率(%)

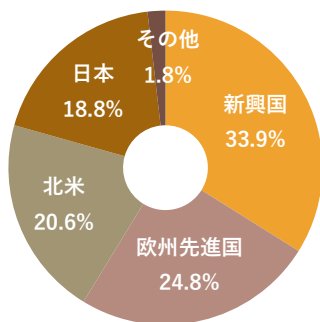
1 ヶ月	6.26%
1 年	-0.04%
3 年	-5.29%
5 年	-2.70%
10 年	76.04%
設定来	123.92%

複利年率(%)

7.18%

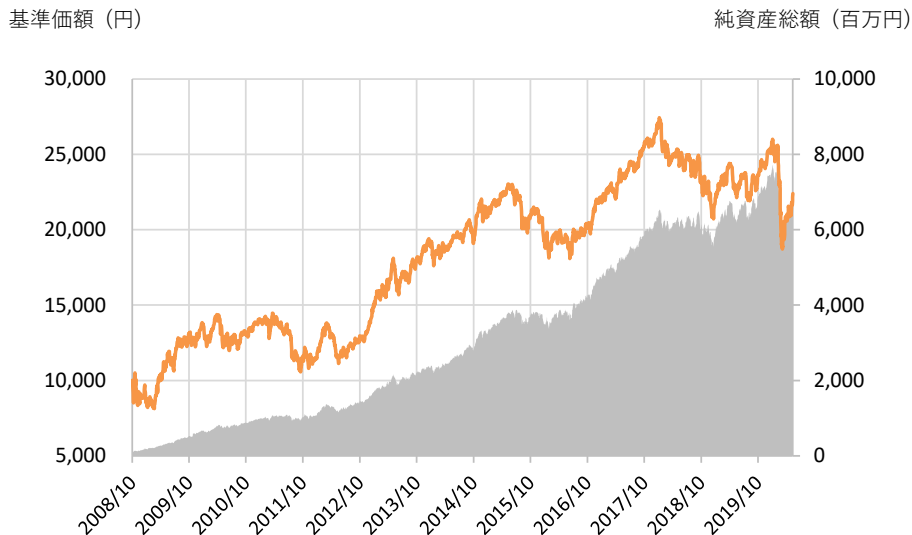
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2020年4月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.9%	10.1%
スパークス F	日本	11.0%	8.9%
キャピタル F	欧米	17.4%	5.2%
ハリス F	欧米	18.0%	11.6%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	10.1%	7.0%
コムジェスト・エマージング F	新興国	28.6%	4.5%
現金等	-	9.2%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2020年5月の市場動向と運用状況

投資環境

新型コロナウイルスによる感染症は、主に先進国で総じて頭打ちから減少に転じており、感染拡大を抑えるための外出禁止措置などの規制が多く、多くの国で緩和に向かいました。経済活動の再開によって景気は改善していくとの期待が高まり、株価は世界的に上昇しました。金融緩和の長期化予想を背景に、金利は低水準での推移が続き、為替市場では4月に軟調だったユーロや新興国通貨が若干回復しました。一時大荒れとなった原油市場も落ち着きを取り戻すなど、全体的としてコロナ後の経済の回復を見越した動きが広がった1ヵ月でした。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は、株価上昇によって組入ファンドがいずれも好調だったことから上昇しました。4月には小幅高にとどまった日本株が大きく回復したため、主として日本株に投資している2本のファンドが大きく値上がりしたほか、景気敏感セクターが戻り歩調となったことからハリスFも2桁の大幅な値上がりとなりました。

株価はボトム圏にあるとの判断から、3月中旬以降、買い増しを継続してきましたが、当月もスパークスF、キャピタルF、コムジェストEU Fの買い増しを実施しました。一方、新興国に投資しているコムジェストEM Fについては、一部を売却しました。月末時点の組入比率は前月末より上昇して90.8%となりました。

今後の見通しと運用方針

新型コロナウイルスの感染は、特に南米や南アジア、アフリカ諸国のいくつかで急増しており、世界的にもこのところ再び増加ペースが速まりつつあります。米国でも感染者数の減少は緩慢です。一方、ワクチンや治療薬の開発は、期待されているほどの成果がまだあがりません。感染第二波への備えを怠れない状況と見られます。

失業保険などの給付が増加する一方で税収は落ち込んでおり、財政赤字は総じて拡大しているため、景気てこ入れ策の継続には不透明感があります。株価反転に寄与したとされる金融政策も万能とは言えません。経済活動の早期再開という投資家の期待が裏切られたり、政府の支援が縮小されたりした場合には、失望売りが出る懸念があります。株価は多くの国で底値をつけたと考えているものの、どこかで回復が一服する可能性があると考えています。

こうした中で、運用に当たっては以下のように考えています。①全体の組入比率については、先行きの景気回復を見越して引き続き高めていくものの、当面はやや慎重姿勢をとる考えです。②ファンド別には、景気回復がしばらく低調なものにとどまる可能性や、債務問題が発生するリスクなどを考え、前月に続きコムジェストEM Fを部分売却して新興国の比率を引き下げる方針です。その他のファンドについては、低成長の下でも持続的な業績拡大が期待できる企業に投資しているファンドを中心に、買い増しを続行していくつもりです。

以上のように、全体の買い増しは慎重に行いつつ、地域別の状況やファンドごとの特徴を考慮した運用を行っていく考えですが、市場を取り巻く環境の変化は激しく、前提条件が変わる可能性も大いにありますので、必要に応じて上記方針にかかわらず柔軟な対応も心がけてまいります。

運用責任者 久保田徹郎

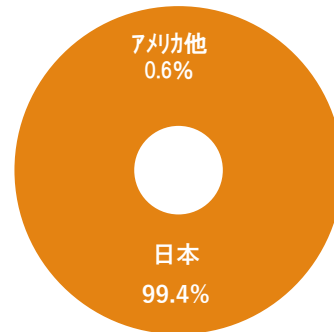
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



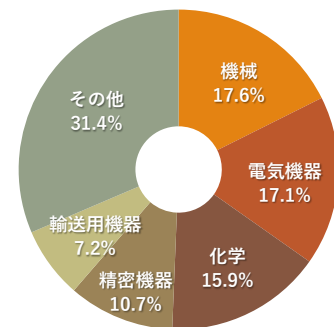
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	4.8%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 花王	4.6%	日本	化学	トイレット紙首位
3 ダイキン工業	4.5%	日本	機械	エアコン世界首位
4 テルモ	4.4%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
5 浜松ホトニクス	3.8%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
6 信越化学工業	3.8%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
7 プリヂェストン	3.8%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
8 TOTO	3.0%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 トヨタ自動車	2.7%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 三浦工業	2.4%	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
上位10銘柄	37.8%	現金等	8.1%	

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年5月末現在>

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



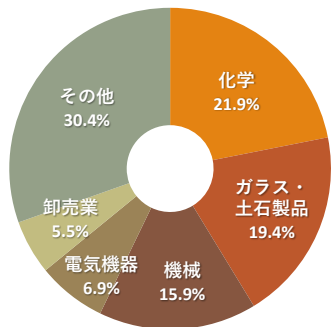
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
関東電化工業		日本	化学	半導体製造用特殊ガス等
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
オルガノ		日本	機械	水処理装置大手
ペイカレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
エフピコ		日本	化学	食品トレなど容器の大手
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等	6.6%			

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年4月末現在>

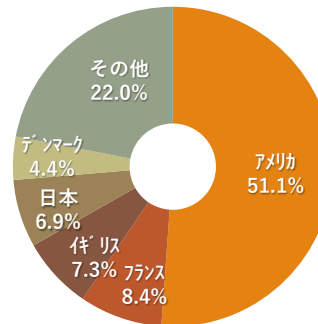
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



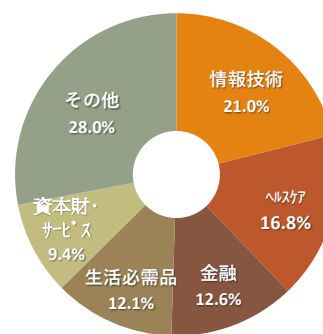
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 AstraZeneca	2.1%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
2 ASML	2.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 Visa	2.0%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
4 Broadcom	1.9%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
5 AIA	1.9%	香港	金融	生保・金融サービス
6 Novo Nordisk	1.9%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
7 TSMC	1.9%	台湾	情報技術	半導体メーカー
8 Microsoft	1.6%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
9 Reckitt Benckiser	1.6%	イギリス	生活必需品	トイレット、医薬品、食品
10 Seattle Genetics	1.5%	アメリカ	ヘルスケア	癌治療薬等の研究開発
上位10銘柄	18.6%	現金等	8.1%	

業種別構成比



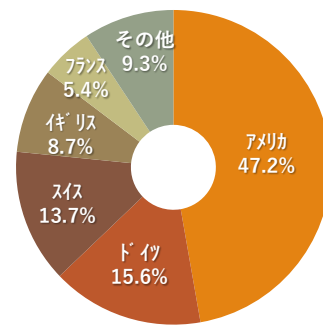
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年4月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



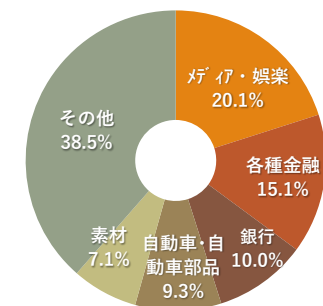
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	5.4%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 BNP PARIBAS	5.2%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 CREDIT SUISSE	5.2%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
4 DAIMLER	5.0%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
5 GLENCORE	5.0%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
6 ALLIANZ	3.6%	ドイツ	保険	総合保険大手
7 JULIUS BAER	3.5%	スイス	各種金融	プライベートバンク
8 CNH INDUSTRIAL	3.4%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
9 HILTON WORLDWIDE	3.3%	アメリカ	消費者サービス	世界有数のホテルチェーン
10 BERKSHIRE HATHAWAY	3.3%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
上位10銘柄	42.7%	現金等	4.0%	

業種別構成比(マザーファンド)

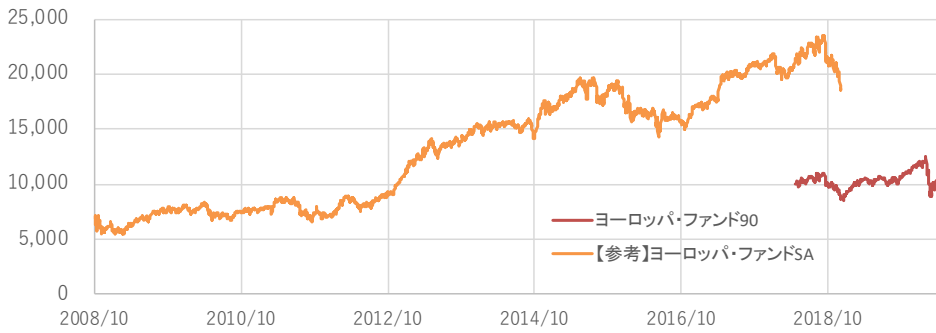


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年4月末現在>

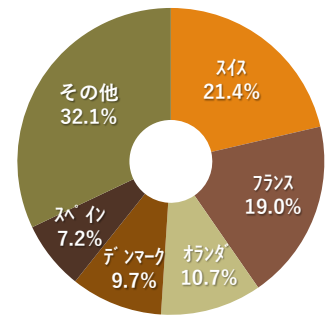
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



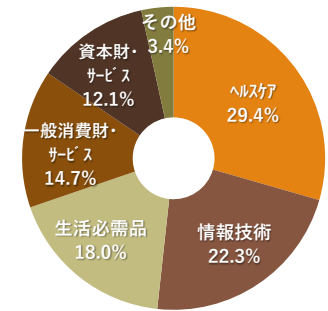
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ROCHE HD	5.5%	スイス	ヘルスクア	医薬品・診断薬
2 NOVO NORDISK	4.9%	デンマーク	ヘルスクア	糖尿病薬等世界首位
3 ASML HD	4.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
4 HEINEKEN	4.0%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
5 AMADEUS	3.7%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
6 ESSILORLUXOTTICA	3.7%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
7 LONZA	3.5%	スイス	ヘルスクア	医薬品・バイオ
8 STRAUMANN HD	3.2%	スイス	ヘルスクア	歯科インプラントメーカー
9 LINDT & SPRUENGLI	3.2%	スイス	生活必需品	チョコレートなどの食品・飲料
10 INDITEX	3.1%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
上位10銘柄	39.5%		現金等	5.6%

業種別構成比(マザーファンド)



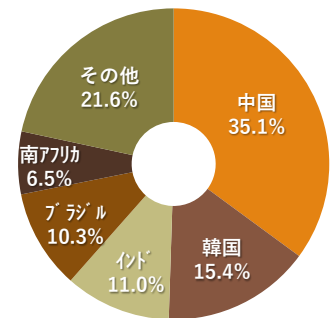
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年5月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



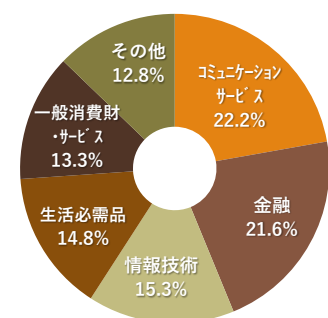
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 PING AN INSURANCE	6.1%	中国	金融	保険大手
2 NETEASE ADR	6.1%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
3 SAMSUNG ELECTRONICS	5.4%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 TSMC ADR	4.6%	台湾	情報技術	半導体メーカー
5 NC SOFT	4.4%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
6 HENGAN INT'L	4.0%	中国	生活必需品	トイレット製品国内大手
7 NAVER	3.8%	韓国	コミュニケーションサービス	インターネット検索サイト
8 ALIBABA	3.5%	中国	一般消費財・サービス	電子商取引サイト
9 POWER GRID OF INDIA	3.4%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
10 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.1%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
上位10銘柄	44.4%		現金等	2.1%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年5月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

スポット購入のお申込み受付時間について

スポット購入とは、弊社の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からの都度のお振込みによりファンドを購入いただくものです。**弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。**

購入金額は「1万円以上1円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。

販売手数料はかかりません。

<当日のスポット購入のお申込みは、15時までに弊社でご入金を確認できたものに限ります。>

現在、銀行などでは、口座振込の時間を延長する傾向にあります。弊社の「ファンド購入用振込先口座」を設けております「りそな銀行」も、振込みが24時間即日入金可能となっておりますが、弊社のスポット購入につきましては、**当日15時までに“弊社でご入金の確認ができたもの”が当日のお申込み受付分となります。**

15時以降に確認できたものは、翌営業日受付分となります。

※ 15時直前などにお振込みされた場合に、当日分として確認できないことがありますのでご注意ください。

※ お振込みの際は、「振込依頼人」名を必ずお客様ご自身のお名前をお願いいたします。

※ 「ファンド購入用振込先口座」につきましては、口座開設いただいた際に弊社より簡易書留郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」に記載しております。
(お客さま控えは再発行できますので、ご希望される場合は弊社までご連絡ください。)

目論見書の改訂について

2020年6月30日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたします。

- ◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。
- ◎ 今回の目論見書改訂において重要な事項に変更はありません。
- ◎ 「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。